



〈現代作家アーカイヴ〉by 飯田橋文学会
文学インタヴュー第13回

松浦理英子

(小説家)

【聞き手】小澤英実 (東京学芸大学准教授)

公開収録一般参加者募集のお知らせ

2018年2月2日(金)

東京大学駒場キャンパス
18号館ホールにて

※本郷キャンパスではありません。ご注意ください

(17時30分開場) 18:00-20:00

先着順・事前申し込み制・入場無料
定員150名

【東大構成員限定 先行申込】

1月5日12時より (定員70名に達し次第締切)

【一般申込受付】

1月12日12時～1月31日まで

(定員に達し次第締切)

※本イベントは、現代作家アーカイヴ構築のためのインタビュー収録を公開で行うものです。ただし、今回は映像の撮影予定はありません。聴講者が当日の様子を撮影・録音することもできません。また、質疑応答の時間は限られているため、質問の数を制限させていただく可能性がございます。以上ご了承のうえ、参加をお申し込みください。

申込ホームページ

<http://new.lib.u-tokyo.ac.jp/5373>



※障害がある方で会場設備等に配慮が必要な場合や、そのほか運営担当者に事前に連絡しておくべき事項等がありましたら、申込フォームにご記入ください。

※勉強会関係の学生、出版、メディア関係の方は、上記申込フォームからではなく、下記アドレスまでご連絡ください。

takeda@boz.c.u-tokyo.ac.jp

松浦理英子自選の代表作

『ナチュラル・ウーマン』
(1987)

『犬身』
(2007)

『最愛の子ども』
(2017)

※収録当日は、これらの作品を軸に作家が語ります
ぜひ、ご一読のうえでのご参加をお薦めします



写真:山元茂樹/文藝春秋

飯田橋文学会〈現代作家アーカイヴ〉とは?

平野啓一郎(作家・飯田橋文学会)

本プロジェクトでは、現在活躍中の作家を毎回一人ゲストに招き、自らの代表作を三作選んでもらった上で、創作活動の全般について、インタビューを通じて語ってもらいます。

読者にとっては、その作家の何をまず読むべきか、また作品相互をどう関連づけるべきかを知る、格好のヒントとなるでしょう。

国内外の多くの文学ファンにとって、貴重なアーカイヴとなることを期待しています。

お問合せ: takeda@boz.c.u-tokyo.ac.jp